

耳納の郷 地域密着型サービス自己評価票（網掛け部分は外部評価も行う調査項目） 取り組んでいきたい項目には「1」が入っています。

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んで いきたい 項目	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
理念に基づく運営			1 ~ 5 (自己 1~24・外部 1~14)	自己評価24項目・外部評価14項目	14	
理念に基づく運営	1 理念の共有(自己 1~3・外部 1~2)			自己評価3項目・外部評価2項目	0	
	1	外部評価1	<b>地域密着型サービスとしての理念【外部評価】</b> 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	地域の方と支えあいながら暮らし続ける事が出来るサービスとして独自の理念を作り上げている。	0	
	2	外部評価2	<b>理念の共有と日々の取り組み【外部評価】</b> 管理者と職員は、理念を共有し理念の実践に向けて日々取り組んでいる	毎日、朝礼の際、職員で唱和し確認や意識付けをしている。	0	
	3		<b>家族や地域への理念の浸透</b> 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえるよう取り組んでいる	各ユニットに理念を掲げ常に目に入るようにしている。又、月一回のホーム便りにも毎回掲載している。	0	
	2 地域との支え合い(自己 4~6・外部 3)			自己評価3項目・外部評価1項目	2	
地域との支え合い	4	<b>隣近所とのつきあい</b> 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	ホームの行事などに地域の方にも来ていただき、その際、気軽にホームに立ち寄って頂く様、声をかけている。又、柿や野菜などを頂いたり、散歩や買い物の際にも、気軽に声をかけて頂いており、日常的な付き合いは出来ている。	1	少しずつ馴染んできていると思うが、気軽に立ち寄っていただけてはいない。気軽に立ち寄っていただけるような環境作りや働きかけが必要。	
	5	外部評価3	<b>地域とのつきあい【外部評価・重点】</b> 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	道路愛護、運動会等に参加し地域の人々との交流に努めている。	0	

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んで いきたい 項目	取り組んで いきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
理念に基づく運営	2 支地域 え合との	6	<b>事業所の力を活かした地域貢献</b> 利用者への支援を基盤に、事業所職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	地域会合の時、支援できることがあれば、協力したい事を伝えている。	1	地域の高齢者の暮らしについては、今の所取り組みておらず、今後は役に立てるように努力したい。
	3	理念を実践するための制度の理解と活用(自己 7~11・外部 4~7)		自己評価5項目・外部評価4項目	5	
	3 理念を 実践す るため の制度 の理解 と活用	7 外部 評価 4	<b>評価の意義の理解と活用【外部評価・重点】</b> 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	自己評価はグループスタッフ全員で取り組んでいる。前回の評価を活かして、改善に取り組んだ所もあるが、十分ではない。	1	自己評価、外部評価の意義については、すべての職員が理解しているとは言えない。
		8 外部 評価 5	<b>運営推進会議を活かした取り組み【外部評価・重点】</b> 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議では、ホームでの活動報告や利用状況などを地域、行政、家族の方にわかりやすく説明している。又、地域の方との情報交換の場になっている。	1	家族の参加が少なく今後も声かけをしていきたい。又、運営推進会議での内容を全職員が理解しているとは言えず改善の必要がある。
		9 外部 評価 6	<b>市町村との連携【外部評価・重点】</b> 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	利用者についての相談など、気軽に市役所に相談しており、よい関係が出来ていると思う。市町村と共にサービス向上に努めている。	1	市の窓口気軽に行き来できるような環境を作って行きたい。
		10 外部 評価 7	<b>権利擁護に関する制度の理解と活用【外部評価・追加】</b> 管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	成年後見制度については、まだまだ知識不足であり、現在講習会などで学んでいる。	1	成年後見制度についての知識を身につけ必要な人に活用できるようにしていきたい。
		11	<b>虐待の防止の徹底</b> 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	虐待については、勉強会などで学習中である。	1	ホームでの虐待が起こることがないようにしっかりと知識を身に付けること、又スタッフがストレスを発散できる環境を作ることも大切であると思われる。

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んで いきたい 項目	取り組んで いきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
		4	理念を実践するための体制(自己 12~18・外部 8~10)	自己評価7項目・外部評価3項目	2	
理念に基づく運営	4 理念を 実践す るため の体制	12	<b>契約に関する説明と納得</b> 契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	管理者が契約の際ホームの方針を十分に説明し、利用者や家族の不安や疑問を尋ねて理解納得した上で、契約して頂いている。	0	
		13	<b>運営に関する利用者意見の反映</b> 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	利用者が不満を訴える事が出来るように意見箱を設置している。又、利用者と接している中で、不満などを引き出しスタッフで話あっている。	1	意見箱の活用はまっただくなされておらず、気軽に意見、不満、苦情を訴える事が出来ないのではないかと、又、認知症であることから訴えが出来ないこともあると思われる。検討が必要。
		14 外部 評価 8	<b>家族等への報告【外部評価・重点】</b> 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	月1回の便りで利用者の暮らしぶりや健康状態など伝えている。同時に1ヶ月分の出納帳も送付しており金銭に関するトラブルは全くない。	0	
		15 外部 評価 9	<b>運営に関する家族等意見の反映【外部評価・重点】</b> 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	家族が不満や苦情を訴える事が出来るように意見箱を設置している。又、家族がスタッフに気軽に話しかけられる環境作りに努めている。	1	意見箱の活用は全くなされておらず、気軽に意見、不満、苦情などを訴える事が出来る環境ではないのかと思われる。今後も環境作りに努めたい。
		16	<b>運営に関する職員意見の反映</b> 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞き、反映させている	毎月ミーティングの際スタッフの意見や提案を聞き、話合っている。	0	
		17	<b>柔軟な対応に向けた勤務調整</b> 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている	管理者が勤務の調整に努めている。又、入居者の状態の変化に伴い、早出、遅出勤務を付けることで柔軟に対応している。	0	

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んで いきたい 項目	取り組んで いきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
理念に基づく運営	4	18	<b>職員の異動等による影響への配慮【外部評価】</b> 運営者は利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	職員の異動は最小限に行うように努めているが、退職者、出産や勤務条件の変更による異動は事前に十分な説明を行うよう努めている。	0	
	5	人材の育成と支援(自己 19~24・外部 11~14)		自己評価6項目・外部評価4項目	5	
	5	19	<b>人権の尊重【外部評価・追加】</b> 法人代表者及び管理者は、職員の募集・採用にあたっては性別や年齢等を理由に採用対象から排除しないようにしている。 また、事業所で働く職員についても、その能力を發揮して生き生きとして勤務し、社会参加や自己実現の権利が十分に保証されるよう配慮している	募集、採用に関しては、法人総務課で行っている。採用後は指導者をつけ、指導を行っている。また、法人が行う新人研修に参加してもらい早く職場に馴染めるように努めている。色々な資格を習得する為の機会を与えている。	1	認知症の実務研修や介護支援専門員の試験を受けている。今後も研修や資格取得等への参加の機会を与えたい。
		20	<b>人権教育・啓発活動【外部評価・追加】</b> 法人代表者及び管理者は、入居者に対する人権を尊重するために、職員等に対する人権教育、啓発活動に取り組んでいる	自己研鑽を行ったり、ミーティングのときに注意し合い検討など行っている。市が行っている人権講習会やグループホーム部会の研修に参加している。	1	研修会等に積極的に参加してほしい。
		21	<b>職員を育てる取り組み【外部評価】</b> 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	新人研修では、社会人としての基礎を学びその後は、段階に応じて研修を受ける機会を設けている。	1	スタッフの自主的な参加が少なく、スキル向上の為に積極的に参加してほしい。
		22	<b>同業者との交流を通じた向上【外部評価】</b> 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	グループホーム協議会等を通して、同業者との交流の機会を持っている。勉強会を開いたり、電話や訪問を通じて、情報の交換を行っている。	1	ネットワーク作りが十分とは言えず、サービスの質の向上に向けたネットワークを充実させる必要がある。
		23	<b>職員のストレス軽減に向けた取り組み</b> 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる	昼休み、就業時間後にくつろげ、雑談が出来る休憩室を設けている。	0	

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んで いきたい 項目	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
	5 と人材 支援の 育成	24	<b>向上心を持って働き続けるための取り組み</b> 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている	勤務の調整を行い、研修をもうけたり参加への働きかけを行っている。運営者は積極的参加を働きかけている。	1	向上心を持っている者に対しては正職採用試験に推薦している。
安心と信頼に向けた関係作りと支援 1～2(自己 25～34・外部 15～16)				自己評価10項目・外部評価2項目	1	
安心と信頼に向けた関係作りと支援	1 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応	1 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応 (自己 25～28・外部 15)		自己評価4項目・外部評価1項目	0	
		25	<b>初期に築く本人との信頼関係</b> 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	事前の見学の際、状況を聞いている。出来る限り本人の話も聴くようにしている。	0	
		26	<b>初期に築く家族との信頼関係</b> 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	見学や相談の際、家族が困っていることや不安なことを尋ね、アドバイスなど出来る限り行っている。	0	
		27	<b>初期対応の見極めと支援</b> 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	相談の際、本人にとってホーム入居が最善の方法なのか他によい方法がないか見極め他のサービスを紹介することもある。	0	
		28 外部評価 15	<b>馴染みながらのサービス利用【外部評価】</b> 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐徐に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	無理な入居や慌ててサービスを開始したりはせず、説明を十分に行い家族、本人の状況を考慮して徐々に進めている。	0	
	2 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援 (自己評価 29～34・外部評価 16)		自己評価6項目・外部評価1項目	1		
係り2 継続 これ の ま で の 支 援 開 く	29 外部 評価 16	<b>本人と共に過ごし支えあう関係【外部評価】</b> 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	人生の先輩である利用者から学ぶことは多く共に支えあう環境を築いている。	0		

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んで いきたい 項目	取り組んで いきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
安心と信頼に向けた関係作りと支援	2 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援	30	<b>本人を共に支えあう家族との関係</b> 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	利用者の変化や行動など家族に伝え共に喜んだり悩んだりしながら本人にとって何が良いことなのか考えている。ふれあい交流会の実施で関係作りにも努めている。	0	
		31	<b>本人と家族のよりよい関係に向けた支援</b> これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	本人、家族などに話を聞き理解に努めている。	1	遠方で面会に来ることが少ない家族には時々電話連絡等で状況報告も必要。
		32	<b>馴染みの人や場との関係継続の支援</b> 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	友人、知人との会う機会を絶やすことのないよう面会などを積極的にして頂いている。又、懐かしい場所への外出、ドライブも途切れないように努めている。	0	
		33	<b>利用者同士の関係の支援</b> 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	利用者同士の会話も認知症であることから困難で合ったりする為間に入り会話をつなげている。	0	
		34	<b>関係を断ち切らない取り組み</b> サービス利用（契約）が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	退去後の介護に対する不安などの相談も積極的に受けている。また、家族や本人の状況に応じて他のサービスの紹介も行っている。	0	
		その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント 1～4 (自己 35～51・外部 17～22)				自己評価 17項目・外部評価 6項目
	1	一人ひとりの把握(自己 35～37・外部 17)		自己評価 3項目・外部評価 1項目	0	
	1	35 外部 評価 17	<b>思いや意向の把握【外部評価】</b> 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	本人にとって何が一番良いことなのか検討し、本人が希望することはケアプランに取り入れ実施している。	0	

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んで いきたい 項目	取り組んで いきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	1 一人ひとりの把握	36	<b>これまでの暮らしの把握</b> 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	家族からよく話を聞いた上で本人からの話も聞き把握に努めている。	0	
		37	<b>暮らしの現状の把握</b> 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	一人で過ごす時間と集団で過ごす時間と配慮し快適に過ごして頂いている。家族又は本人からの情報を元に総合的に把握するように努めている。	0	
	2	本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し (自己 38~40・外部 18~19)	自己評価3項目・外部評価2項目	2		
	2 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し	38 外部評価18	<b>チームでつくる利用者本位の介護計画【外部評価】</b> 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	職員間で十分に話し合い介護計画を作成しよりよい生活ができる様に努めている。介護計画は家族にも確認して頂いている。	1	本人や家族との話し合いは十分とは言えず、本人の意向が十分に反映された介護計画であるとは言いがたく、検討の必要あり。
		39 外部評価19	<b>現状に即した介護計画の見直し【外部評価】</b> 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	状態変化が生じた場合には介護計画を見直し新しく計画を立てている。又、評価も期間内にきちんと行っている。	1	本人家族との話し合いは十分ではなく検討の必要あり。
		40	<b>個別の記録と実践への反映</b> 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	日々の行動を個別記録に記載している。第三者が見ても分かるように細かく記入し、情報を共有している。	0	
	3	多機能を活かした柔軟な支援(自己 41・外部 20)	自己評価1項目・外部評価1項目	0		
	3 多機能を活かした柔軟な支援	41 外部評価20	<b>事業所の多機能性を活かした支援【外部評価】</b> 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	入院中は定期的に面会を行い、退院後はホームでの生活がスムーズに送れるように対応している。本人の要望に応じ、散髪や買い物に同行している。	0	

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んで いきたい 項目	取り組んで いきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	4		本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働 (自己 42~51・外部 21~22)	自己評価10項目・外部評価2項目	3	
		42	<b>地域資源との協働</b> 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	警察、消防、教育機関等の協力はできているが、本人の意向が必要性に応じているとは言えない。	1	本人の意向や必要性に応じて各機関と協力しながら支援していきたい。
		43	<b>他のサービスの活用支援</b> 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネージャーやサービス事業者と話しあい、他のサービスを利用するための支援をしている	他事業者との関わりを密に持ち他のサービス利用が必要となった時に対応できるようにしている。	0	
		44	<b>地域包括支援センターとの協働</b> 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	運営推進会議の際相談したり助言を受けたりしている。	1	地域包括支援センターとの協働はあまりなされておらず今後の課題である。
		45 外部 評価 21	<b>かかりつけ医の受診支援【外部評価】</b> 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	かかりつけ医、看護師と連携し適切な医療を受けられるように努めている。	0	
		46	<b>認知症の専門医等の受診支援</b> 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	定期的にかかりつけ医に相談しアドバイスを頂いている。	0	
		47	<b>看護職との協働</b> 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	訪問看護師が日常的に健康管理を行っている。	0	

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んで いきたい 項目	取り組んで いきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	4	48	<b>早期退院に向けた医療機関との協働</b> 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している	こまめに面会に行き看護師などへ状態、状況を確認している。	0	
		49 外部 評価 22	<b>重度化や終末期に向けた方針の共有【外部評価】</b> 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	終末期のケアについては、十分に家族やかかりつけ医と話し合いを行い方針を共有している。	0	
		50	<b>重度化や終末期に向けたチームでの支援</b> 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医等とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている	かかりつけ医と連絡を取り合い、今後の変化に取り組んでいる。	1	終末期のケアについては学習が必要である。又、状態の変化に応じて家族の意向を再度確認する必要がある。
		51	<b>住み替え時の協働によるダメージの防止</b> 本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている	ホームから別の場所へ移る際、関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、ダメージを防ぐように努めている。	0	
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援 1～2 (自己 52～89・外部 23～33)				自己評価 3 8 項目・外部評価 1 1 項目	25	
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	1	その人らしい暮らしの支援 (1)～(5) (自己 52～81・外部 23～30)		自己評価 3 0 項目・外部評価 9 項目	22	
		(1) 一人ひとり尊重(自己 52～54・外部 23～24)	自己評価 3 項目・外部評価 2 項目	2		
		52 外部 評価 23	<b>プライバシーの確保の徹底【外部評価】</b> 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	個人情報には十分に気をつけ記録などを行いプライバシーに配慮している。	1	十分注意しているつもりであるが気付かないうちに自尊心を傷つけている可能性がある。常に再確認の必要がある。個人情報については今後も学習が必要である。
53	<b>利用者の希望の表出や自己決定の支援</b> 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている	できる限り本人に決めて頂き訴えることの出来ない方には手助けをしている。	1	認知症により自己決定が困難な場合が多くスタッフが決定することが多くなっている。		

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んで いきたい 項目	取り組んで いきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	1 その人らしい暮らしの支援	54 外部評価 24	<b>日々のその人らしい暮らし【外部評価】</b> 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	出来る限り希望に沿うようにしているが受診や行事があるときは出来ないこともある。	0	
		(2)	その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援 (自己 55~60・外部 25~26)	自己評価 6 項目・外部評価 2 項目	6	
		55	<b>身だしなみやおしゃれの支援</b> その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている	起床、入浴後など身だしなみには気をつけている。意思を示すことの出来る方には希望の理・美容室にお連れするようにしている。	1	意思を示す事が出来ない方には訪問理・美容を利用しており身だしなみが出来るように支援している。
		56 外部評価 25	<b>食事を楽しむことのできる支援【外部評価】</b> 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	ミキサー食の方も増えたが、見かけがよいようにきれいに盛り付ける工夫をして、おいしく食事をして頂いている。配膳など出来る方には手伝いをしている。	1	職員と一緒に準備が出来る方が少なく、職員のみで行うことが多い。
		57	<b>本人の嗜好の支援</b> 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	飲み物やおやつに関しては希望があれば可能な限り好みの物を提供しているが、お酒タバコに関しては今の所要求はない。	1	嗜好品を尋ね、可能な限り提供できれば楽しく食事が出来ると思う。
		58	<b>気持ちよい排泄の支援</b> 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	一人一人の排泄パターンを良く把握し失敗せず気持ちよく排泄できるよう支援している。	1	認知症の進行と機能低下によりトイレで排泄できる方が少なくなってきた。オムツでも不快なく過ごせるよう、今後も支えていきたい。
		59 外部評価 26	<b>入浴を楽しむことができる支援【外部評価】</b> 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	本人の状況に合わせて行っている。希望があれば前日入浴されていても入れるようにしている。夜間は一人のため行っていない。	1	認知症の進行により拒否が強いがスタッフの工夫した声掛けで入浴され喜ばれている。

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んで いきたい 項目	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	1 その人らしい暮らしの支援	60	<b>安眠や休息の支援</b> 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	居室やリビングで自由に休息が出来る様な環境は整っており無理のない生活を送っている。	1	自分の意思を示す事が出来ない入居者に関しては、同じ姿勢のまま長時間いることのないよう個別的な関わりで対応して行きたい。
		(3)	その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援 (自己 61~66・外部 27~28)	自己評価6項目・外部評価2項目	3	
		61 外部評価 27	<b>役割、楽しみごと、気晴らしの支援【外部評価】</b> 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	入居の際、家族や本人に生活歴を尋ね、入居後も出来る限り能力に応じたその人らしい生活が出来る様支援している。	1	認知症が進んでいる為意思表示が出来なかつたり身体的な能力低下で、支援できないこともあり検討の必要がある。
		62	<b>お金の所持や使うことの支援</b> 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	ほとんどの方がお金の管理能力がなく、ホームで管理している。	0	
		63 外部評価 28	<b>日常的な外出支援【外部評価】</b> 事業所の中だけで過ごさず、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	天気の良い日は、外に散歩に出かけたりドライブ、買い物へ行ったりと支援している。	1	認知症と機能低下により、自ら散歩を希望される方はいない。業務の忙しさから、散歩の機会が少なくなって来ている。
		64	<b>普段行けない場所への外出支援</b> 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	家族の希望により外出される事はある。意思表示できない方に関しては、スタッフが考えて個別に、あるいは皆と一緒に出かけている。	1	意思表示の出来ない方に対する個別的な関わりは十分とは言えず検討が必要。
		65	<b>電話や手紙の支援</b> 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	電話も手紙も自由にやり取りが出来る様に支援しているが、能力的な問題で不可能な時がある。要望に応じてスタッフが代わって電話をしている時もある。	0	

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んでいき きたい項目	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)	
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	1 その人らしい暮らしの支援	66	<b>家族や馴染みの人の訪問支援</b> 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるように工夫している	訪問時間の制限はもうけていない。気軽にいつでも訪問できるようにしている。	0		
		(4) 安心と安全を支える支援(自己 67~74・外部 29~30)			自己評価 8 項目・外部評価 2 項目	7	
		67	<b>身体拘束をしないケアの実践</b> 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束について理解しているが、他者や本人に危害を及ぼすと判断した場合は已むお得なく安全ベルトを使用しており、家族に承諾を得ているが現在は対象者はいない。	1	研修会に参加し学習する必要がある。	
		68 外部評価 29	<b>鍵をかけないケアの実践【外部評価】</b> 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	鍵をかけないケアに取り組んでいたが離設があった事により現在は施錠している。	1	鍵をかけないケアを行うべきだとは思うが、離説があった為家族より施錠の要望があった。鍵に頼らず離説を防ぐ方法を検討する必要がある。	
		69	<b>利用者の安全確認</b> 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	常に行動を見守り、安全に配慮している。	1	一人で対応している時など目が行き届かず、完全に行動を把握していない時もある、離説や転倒に対する危険がある。	
		70	<b>注意の必要な物品の保管・管理</b> 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	ハサミ、爪きり等は能力に応じて所持している入居者もいるが、危険と判断した場合は、引き上げ管理している。	0		
		71	<b>事故防止のための取り組み</b> 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	応急処置の方法や防災訓練などは消防署の指導の下、年に2回実施している。服薬に関しては職員が完全に管理しており配薬の際は呼名して誤薬がないよう努めている。歩行の妨げになる様な物は置かない様になっている。	1	重度の認知症のため理解が乏しく、転倒を防ぐ事が難しく成ってきている。歩行困難者が増えてきており目が行き届かないこともあり検討が必要。	

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んで いきたい 項目	取り組んで いきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	1 その人らしい暮らしの支援	72	<b>急変や事故発生時の備え</b> 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	応急処置の方法や避難訓練など消防署に依頼して指導を受けているが、応急処置に関しては定期的ではない。	1	今後も研修等に参加して、応急処置や急変時の対応などの知識を身に付けて行きたい。
		73 外部評価 30	<b>災害対策【外部評価】</b> 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	運営推進会議で災害時の協力を得られるよう働きかけており避難訓練も参加して頂いている。	1	具体的な手順などは話合っておらず、今後の課題である。
		74	<b>リスク対応に関する家族等との話し合い</b> 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にされた対応策を話し合っている	転倒、急変の可能性のある事など十分に説明し、対応策についても理解していただけるようにしている。	1	日頃より、家族には十分説明し理解して頂いてはいるが、今後も常に説明し、信頼関係を深めて行きたい。
		(5)	その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援 (自己 75~81・外部 31)	自己評価7項目・外部評価1項目	4	
		75	<b>体調変化の早期発見と対応</b> 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	直接身体に触れ熱感はないか、表情、顔色は良いかなどを常に観察している。変わりがあれば申し送りや記録を確実に行情報の共有を行っている。	0	
		76	<b>服薬支援</b> 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	薬の説明書をカルテに綴じ常に確認できるようにしている。又、薬の副作用についても理解するように努めている。症状の変化に対しては主治医や看護師の指示のもと速やかに受診し対応している。	0	
		77	<b>便秘の予防と対応</b> 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	身体的、能力の問題で運動が出来ない場合は腹部マッサージを行ったりしている。又、全入居者に対し水分補給に努めている。排泄チェックを行い医師の指示のもと、緩下剤の調整を行っている。	1	可能な限り散歩や体操を行うことで身体を動かし便秘を予防して行きたい。

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んでいきたい項目	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	1 その人らしい暮らしの支援	78	<b>口腔内の清潔保持</b> 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	毎食後一人ひとり口腔ケアを行っており清潔は保たれている。	0	嚥下障害のある方の口腔ケアがなかなか難しい。研修会等に参加しさらに知識を身に付けたい。
		79	<b>栄養摂取や水分確保の支援【外部評価】</b> 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	家庭菜園で栽培した野菜や季節の野菜を	1	栄養が偏らないよう魚類、肉類をバランス良く使っている。
		80	<b>感染症予防</b> 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している（インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等）	インフルエンザは予防接種の重要性を説明し全員接種している。スタッフは手袋もその都度交換し介助している。又、床、ドアノブ等消毒し予防に努めている。	1	意識を高める為、勉強会等に参加し感染予防に対する知識を学んで行きたい。
		81	<b>食材の管理</b> 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	食材は毎日新鮮な物を購入し、調理したものはその日の内に提供している。調理器具は毎日消毒を行い、又、定期的に冷蔵庫の点検・管理をしている。	1	調味料や保存食品の整理を行い、賞味期限の確認を行っている。
	2	その人らしい暮らしを支える生活環境づくり (1)~(2) (自己 82~89・外部 32~33)		自己評価 8項目・外部評価 2項目	3	
	2	(1) 居心地のよい環境づくり(自己 82~86・外部 32~33)		自己評価 5項目・外部評価 2項目	1	
	2 生活環境づくり その人らしい暮らしを支える	82	<b>安心して出入りできる玄関まわりの工夫</b> 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	玄関周りを清掃し季節の花を植え、開放的な雰囲気作りにつけている。	1	誰もが入りやすい環境を工夫して行く必要がある。
		83	<b>居心地のよい共用空間づくり【外部評価】</b> 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	共用の空間には、四季の移りを感じさせる工作物を展示している。浴室の脱衣室、トイレには、冬の間暖房とは別に暖房機器を設置している。	0	

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んで いきたい 項目	取り組んで いきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)	
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	2 その人らしい暮らしを支える生活環境づくり	84	<b>共用空間における一人ひとりの居場所づくり</b> 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	リビングにはくつろぐ為のソファを設置しテレビも見られるようにしている。気の合う利用者で食事が出来るよう、食事席にも配慮している。又、テラスにはベンチを置いて、外気浴も楽しむことが出来る。	0		
		85 外部評価33	<b>居心地よく過ごせる居室の配慮【外部評価】</b> 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもをを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	居室には、元気な頃の家族写真を貼ったり、本人の使い慣れた道具を置き、各部屋にはテレビをし、入居者の自由な空間を作っている。	1	認知症の進行と機能の低下により居室で一人で過ごすことが不可能な方が多くなった。	
		86	<b>換気・空調の配慮</b> 気になるにおいや空気よどみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	換気をこまめに行っている。尿臭が強いときは、消臭剤を使ったりしている。温度測定を1日に2回行い、温度の調整にも努めている。	0		
		(2) 本人の力の発揮と安全を支える環境づくり(自己 87~89)			自己評価3項目	2	
		87	<b>身体機能を活かした安全な環境づくり</b> 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	廊下、リビング、トイレには手すりを設置し歩行が安全に出来るようになっている。車椅子での移動も可能なように入出口は広く作られている。	1	歩行が困難な方が多くなってきた。シャワー浴の方が浴槽の中まで入れるような設備が整えられれば良いと思う。	
		88	<b>わかる力を活かした環境づくり</b> 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	残存機能を活かし自立した生活が出来るように支援している。常に行動を見守り混乱や失敗を防ぐ様努めている。	1	認知症の進行と機能の低下により扱力が乏しくなっている。混乱や失敗を防ぐ事が出来るよう支援して行きたい。	
		89	<b>建物の外周りや空間の活用</b> 建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている	自由に出入り出来るようになっている。スロープや手すり、ベンチを設置し散歩したり休んだり出来る。	0		

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んでいき きたい項目	取り組んでいき たい内容 (既に取り組んでいることも含む)
サービスの成果に関する項目				取り組みの成果 (該当番号を該当番号欄に入力すること)	該当 番号	
サービスの 成果に 関する 項目	90	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	ほぼ全ての利用者の 利用者の2/3くらいの 利用者の1/3くらいの ほとんど掴んでいない	2		
	91	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	毎日ある 数日に1回程度ある たまにある ほとんどない	2		
	92	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない	3		
	93	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない	2		
	94	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない	4		
	95	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない	1		
	96	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない	1		
	97	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	ほぼ全ての家族と 家族の2/3くらいと 家族の1/3くらいと ほとんどできていない	1		
	98	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねてきている	ほぼ毎日のように 数日に1回程度 たまに ほとんどない	2		

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んで いきたい 項目	取り組んで いきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
サービスの成果に関する項目		99	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	大いに増えている 少しずつ増えている あまり増えていない 全くいない	2	
		100	職員は、生き活きと働けている	ほぼ全ての職員が 職員の2/3くらいが 職員の1/3くらいが ほとんどいない	1	
		101	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない	1	
		102	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	ほぼ全ての家族と 家族等の2/3くらいと 家族等の1/3くらいと ほとんどできていない	2	
サービスの成果に関する項目				取り組みの成果 (該当番号を該当番号欄に入力すること)	該当 番号	

サービスの成果に関する項目の該当番号は、選択肢の該当番号を示します。

番号の上位は自己評価の項目番号を指します。外部評価項目は、番号欄に網掛けをして外部評価と表示し、外部評価の項目番号を下に表記しています。

項目の横の重点は、外部評価の調査結果で重点項目として概要表に記載される項目です。

また追加は、福岡県が国の参考例に自己評価から外部評価に加えたり、新たに自己評価も含めて独自に追加した項目などです。